沼田町で学ぶ
認知症フォーシーズン～夏～

「認知症になっても希望をもって生きる」

若年性アルツハイマー型認知症を発症し、周囲の理解とサポートを受け生活をしている、ほっかいどう希望大使の松本健太郎（まつもとけんたろう）さんと横山弥生（よこやまやよい）さん、公認支援者である砂川市立病院の大辻誠司（おおつじせいじ）さんをお招きし、認知症への理解を深める講演会を開催します。

日時 9月12日（金）
10:00 ～ 11:00

場所 「ふれあい」すこやかホール

申し込み締め切り
9月11日（木）
当日も参加可能です

全町民
対　象
無　料

ほっかいどう希望大使とは？（認知症本人大使）

令和６年８月北海道は、認知症になっても 希望を持って暮らしていけることを発信する、**ほっかいどう希望大使（認知症本人大使）**を任命しました。 認知症当事者の方々やご家族などに希望をもたらし、認知症の方への理解を深める役割を担っています。

お申込み
沼田町役場保健福祉課内（望月、鈴木）
☎ 0164－35－2120（平日 8:45～17:15）

→裏面もご覧ください。

「この病気になると周囲のサポートが必要です」

まつもとけんたろう
松本健太郎さんは、燃料・設備販売の会社で営業として働いていた48歳の時に、若年性アルツハイマー型認知症と診断を受けました。

現在も同じ会社に勤務し、家族、病院、職場の皆さんの理解とサポートにより生活しています。

「一人じゃない、大丈夫という想いを届けたいです」

よこやまやよい
横山弥生さんは、仕事や家事に追われる日々を過ごしていた51歳の時に、若年性アルツハイマー型認知症と診断を受けました。

診断後は、シンガーとしてライブ活動や講演会を行っています。

「認知症イメージを変えていきましょう」

砂川市立病院の精神保健福祉士として、認知症の方やそのご家族への支援にご尽力されている大辻誠司さんと、診断前、診断後、現在の生活について講話します。

砂川市立病院
おおつじせいじ
大辻誠司 氏